

# 日本の弥生時代って どんな時代

I-1

今から2400年ほど前（紀元前4世紀）、大陸から伝わった稲作の技術、金属製品の使用、機織りの技術などの内容をもった文化が北九州地方で始まりました。

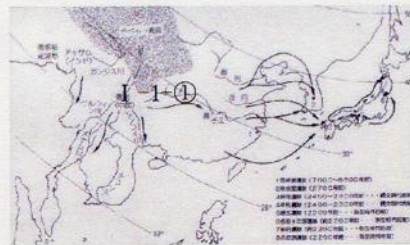
特に稲作を行う農耕生活の開始により、今から1700年ほど前（紀元3世紀）まで続いたこの時代がきっかけとなり、日本人の生活のしかたはすっかり変わりました。以後、食生活は、米が中心となり、現代でも基本的には変化していません。

I-1

# 稲作文化の伝播ルート

I-2-①

日本に伝わった栽培稲の起源地は、インド東部から中国南部にかけての地域と考えられています。中国大陸東部の河姆渡遺跡では、約7000年前の稲作文化のあとが発見されています。中国東部の稲作農耕は朝鮮半島を經由して、約2400年前に九州北部に伝わり、そこから東北地方北部まで達し、日本文化の基礎となりました。



I-2-②

# 弥生時代の呼び名の由来って

I-3

この時代は、東京都文京区弥生町で最初に発見された「弥生土器」にちなんで、弥生時代と呼ばれています。弥生時代は、約2400年前（紀元前4世紀）から約1700年前（紀元3世紀）まで続いた時代です。

I-3